



フロンターレ選手と本を楽しもう! 2018

川崎市立図書館では、「読書のまち・かわさき」事業の一環として、J1リーグで活躍する地元のサッカークラブ「川崎フロンターレ」との協働により、読書への関心を促進する取組を行っています（平成30年度で10年目）。



「華麗なりフティングにきぎ付け」

この事業の一つとして、9月29日（土）に、多摩区役所で「フロンターレ選手と

「試合より緊張した初めての読み聞かせ」

本を楽しもう！」を開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、MF脇坂泰斗選手とふるん太を迎え、事前にお申込みをいただいた小学1～3年生の子どもたちとその保護者92名の方々にご参加いただきました。

最初に、脇坂選手に華麗なりフティングを披露してもらった後、読んでもらったのは、選手のおすすめ本を紹介する『キックオフ! 読書のまち かわさき VOL.10』で新井章太選手おすすめの『はらぺこあおむし』と、サッカーにちなんだ『ゴー・ゴー・ゴール!』の2冊。初めての読み聞かせに「試合より緊張した」という脇坂選手でしたが、子どもたちは静かに聞き入っていました。脇坂選手とハイタッチをして会場を後にした子どもたちは、満足そうな笑顔を見せてくれていました。

川崎フロンターレは、2018年もJ1リーグ優勝を果たし連覇を達成しました! ホームスタジアムである等々力陸上競技場でのゲームの際に発行される情報誌『川崎フロンターレ オフィシャルマッチデープログラム』（2018シーズン分もご寄贈いただきました）は中原図書館内でのみ閲覧いただけます（貸出はしていません）。

また、『キックオフ! 読書のまち かわさき VOL.10』は川崎市立図書館各館で配布中ですので、ぜひご覧ください。

第37回



スタジアムの宙に
あわせの歌が響く街
天野春果／著 小学館

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。今回は「川崎フロンターレ」をテーマにした本を紹介します。

A:『川崎フロンターレ優勝記念号 2018』

日本スポーツ企画出版社 2018年

雑誌『サッカーダイジェスト』増刊の優勝記念号。2018年シーズンの試合記録、シーズンレポート、35選手のプロフィールやオフショットなど盛りだくさんな内容です。

鬼木監督や選手へのインタビューでは連覇に対する想いや来季への決意なども語られています。J1リーグで5クラブ目となる連覇を成し遂げた川崎フロンターレの1年を振り返ります。



川崎フロンターレ
優勝記念号 2018
日本スポーツ企画出版社

B:『スタジアムの宙に あわせの歌が響く街』

天野春果／著 小学館 2016年

Jリーグクラブで「地域貢献度」第1位を7年連続で獲得している川崎フロンターレ。そのプロモーション部部長（当時）である著者が手がけた『シンゴジラ』とコラボした『多摩川ラジゴ』など3つのイベントを取り上げて紹介しています。関係者との交渉や偶然の出会いによる実現へのきっかけなど、イベント実施までの裏側が分かります。

C:『残心 Jリーガー中村憲剛の挑戦と挫折の1700日』

飯尾篤史／著 講談社 2016年

川崎フロンターレの顔ともいえる中村憲剛選手。2010年南アフリカワールドカップから2015年シーズンにかけては手術や日本代表落選など不運に見舞われました。その中で苦しみ葛藤しながらも高い壁や落とし穴を乗り越え、這い上がり、結果として進化しながら前に進んでいく姿が、本人や周りの人への取材をもとに重層的に書かれています。



残心
Jリーガー中村憲剛の
挑戦と挫折の1700日
飯尾篤史／著 講談社